

活動団体： 団体名 ウォーターエイドジャパン

～すべての人々がすべての場所で、清潔な水とトイレを利用し、衛生習慣を実現できる世界～

団体の活動



ウォーターエイドは、1981 年にイギリスで設立された水・衛生専門の国際 NGO です。世界 30 か国に拠点を置き、22 か国で水・衛生プロジェクトを実施しています。世界では、6 億 9,600 万人が清潔な水を利用できず、15 億人が適切なトイレを利用できていません。ウォーターエイドは、「すべての人々がすべての場所で、清潔な水とトイレを利用し、衛生習慣を実現できる世界」を目指して活動をしています。<https://www.wateraid.org/jp>



ルワンダ:「日本 NGO 連携無償資金協力事業」で引き渡し式に中條一哉駐ルワンダ特命全権大使も出席 WaterAid/Claude Uwihoreye



ザンビア:清潔な水で遊ぶ子供たち WaterAid/ Cian Oba-Smith

インターンプロフィール

井草七海

高校在学中にウォーターエイドの授業支援を受けたことをきっかけに国際協力への関心を深め、学生時代はウォーターエイドスピーカークラブの活動に携わる。日本の大学で国際関係学を学んだ後、英国の大学院にて国際政治学およびアフリカ地域研究を専攻。2026 年よりウォーターエイドジャパンに勤務。

所属団体で活動するきっかけ

幼少期から英語や世界のニュースに強い関心を持ち、それらを学び、考える中で、環境要因によって自分のコントロールを超えた構造的な格差に苦しむ人々の現実を知り、少しでもそのような社会を変えたいと考えるようになりました。そして、高校・大学へと進学する中で、日本の国際協力分野の強みの一つである「水」に関わる仕事に携わりたいという思いを抱くようになり、その志がウォーターエイドジャパンでの活動へとつながりました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

コミュニケーションオフィサーとして、ファンドレイズに関わる業務をはじめ、水・衛生について学ぶことができるイベントの企画・運営や、ウォーターエイドジャパンの事務所がある墨田区との連携事業など、ウォーターエイドの活動やメッセージを広く発信する業務に携わっています。

スキルアップのためにしていること

グローバルに活動する国際 NGO だからこそ、語学力の向上には日々欠かさず取り組んでいます。また、国際協力分野の最新トレンドや、当団体が取り組む水・衛生課題に関する知識を継続的に学び、専門性を高めるよう努めています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

JICA 草の根技術協力事業が実施されているザンビアで、研修を行う予定です。2024 年に採択された本プロジェクトでは、南部州のモンゼ郡およびカズングラ郡にある 3 か所の保健医療施設を対象に、安全な水と衛生環境の整備を進めています。具体的には、給水システムやトイレなどの設備を設置するほか、保健医療スタッフや地域住民を対象とした衛生行動の改善・強化に取り組んでいます。私は、プロジェクトコーディネーターの担当職員とともに現地を視察し、プロジェクトの進捗や成果を日本のステークホルダーの皆さまに分かりやすく伝える役割を担います。

今後のビジョンは？

私たちの活動に共感し、ウォーターエイドのファンになってくださる方をさらに増やしていきたいと考えています。また、水・衛生分野の国際協力において、コミュニケーションだけでなく、アドボカシーやプログラム実施などにも包括的に携わることのできるプラクティショナーになることを目標としています。そのような取り組みを積み重ねることで、水へのアクセスがないことを理由に、学びや仕事などの機会を諦めなければならない人がゼロの社会の実現に貢献したいと考えています。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

国際協力の分野に進むことは、不安に感じることも多いかもしれません。しかし、少しでもこの分野に魅力を感じ、実現したい社会の姿があるのであれば、その直感を大切にしていただけたいと思います。私も、進んだ道が正解かどうかを考えるより、自分の選んだ道を正解にするという強い気持ちで日々挑戦を続けています。

団体アピール

水・衛生分野を専門に活動する国際 NGO は、日本国内では非常に少なく、ウォーターエイドはその一つです。水へのアクセスは、人々の命と健康、そして尊厳ある暮らしを支える基本的人権であり、ウォーターエイドは 1981 年の設立以来、世界各地で安全な水・衛生へのアクセス改善に取り組んできました。特に、貧困や差別などの要因によって取り残されがちな人々に焦点を当て、誰もが安全な水と衛生を利用し、基本的な権利を享受できる社会の実現を目指しています。SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」の達成に向け、今後も専門性を活かした活動を続けていきます。